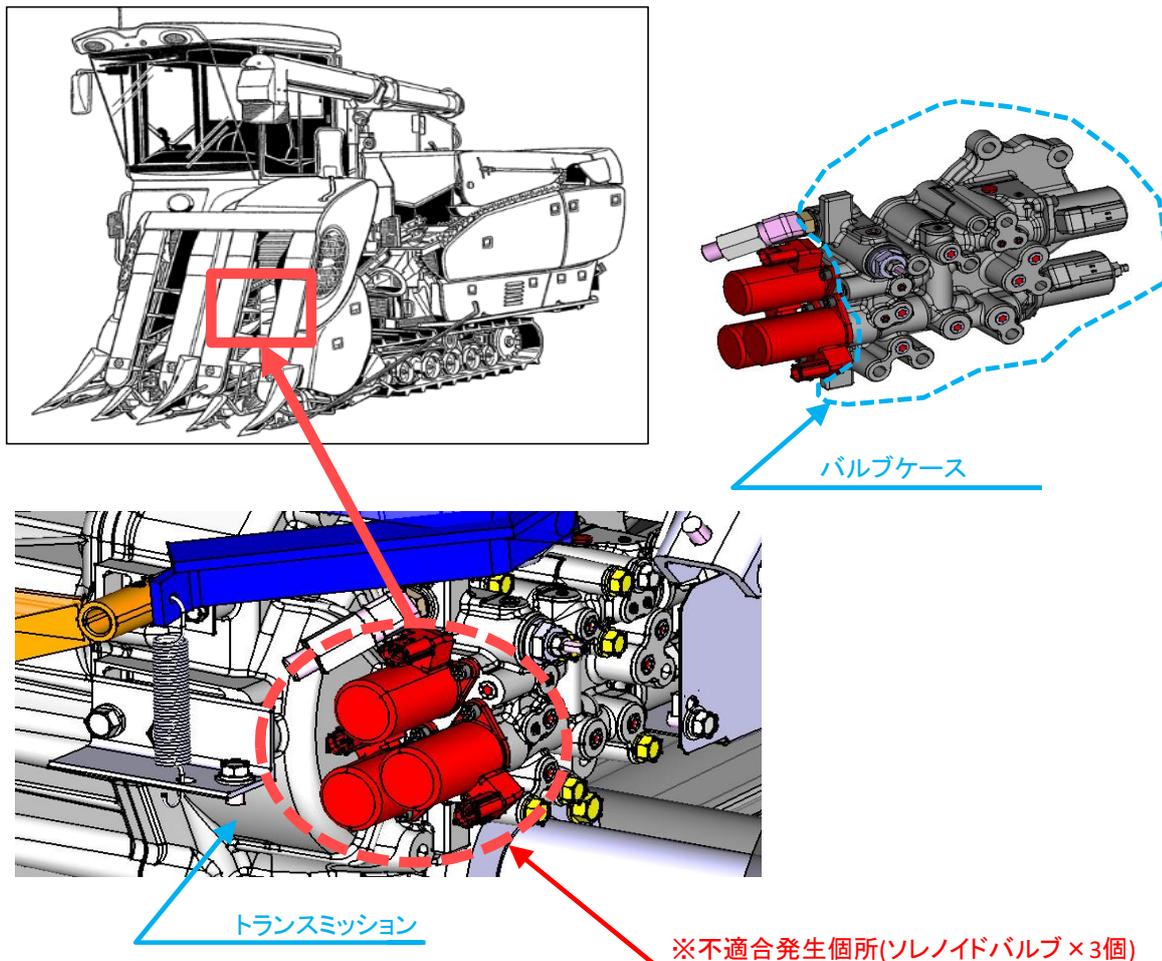


改善箇所説明図



※不適合発生箇所(ソレノイドバルブ×3個)

※は交換部品を示す

不具合内容:

トランスミッションの左右旋回クラッチを制御する旋回装置において、以下の①及び②の内容により、旋回しようとして操向レバーを操作しても、車両が直進する恐れがある。

①ソレノイドバルブの内部形状が不適切であるため、油圧作動油に混入した金属片等がソレノイドバルブ内部に入り込んだ場合、噛み込みが発生しソレノイドバルブが固着する。

②ソレノイドバルブの内部構造が不適切であるため、ソレノイドバルブ内に入り込んだ油がソレノイドバルブ内部から抜けずに密閉状態となり、バルブ内で圧力を保持してしまい、その状態でバルブが作動することで油の温度が上昇し、油の熱膨張によりソレノイドバルブが作動不良になる。

改善の内容:

全車両、対策したソレノイドバルブに交換する。
また、併せてトランスミッションオイルを新品に交換する。

改善後の識別:

下の写真の部位、機種銘板の左下に白色マーキングを実施する。

